



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは希望をもたらす

1986~'87 R.I 会長 M.A.T. カバラス

藤田会長 クラブターゲット

楽しく集う ロータリー

第 410 回 例会 61 年 8 月 28 日 第 416 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
49名	34名	69.39%	100%

欠席者 (15名)

古郡, 橋本, 飯島, 岩田, 伊藤, 亀谷, 金井
加藤, 木村, 三浦, 中西, 鈴木, 竹本, 土屋
山中

本日のプログラム 9月4日

伊藤英夫君「会員増強について」

次週予定 9月11日

田村喜八氏(大和市立大和中学校長)
「最近の中学生気質」

司会 SAA 近藤富士男君

ソングリーダー 前原 一男君

「それでこそロータリー」

《ビジター》

安藤達雄君(横浜旭) 小沢 茂君(横浜瀬谷)
星 幸男君、中村喜典君、藪内宏雄君
眞鍋藤正君、堀 一君、樋渡金彦君
黒田忠男君、伊藤正巳君、斉藤 勝君(大和)
吉光喜久雄君、吉田敏行君(大和田園)

結婚記念日 松本忠明君 (9月3日)

創業記念日 後藤定毅君 (9月1日)

古田土勝美君 (9月1日)

《スマイルボックス》委員長 後藤定毅君

安藤達雄君(横浜旭) お暑うございます。お世話になります。

星 幸男君(大和) 残暑が厳しい折柄いかがお過しですか、小生も食事しない時は足も軽くランラン……皆様もお体を大切に!!

中村喜典君(大和) お暑うございます。久しぶりにお伺い致しました。どうぞ宜しく願い致します。

堀 一君(大和) 御世話になります。

伊藤正巳君(大和) メーキャップに伺いました。本日もよろしく願います。

《会長報告》

出席100%、非常に嬉しい事だと思います。本日は特別会長報告はありません。

《幹事報告》

副幹事 高橋政勝君

ロータリーの為替レートが変更になりました。現在1ドル166円ですが、9月1日より156円になりますので報告致します。

お祝 おめでとうございます!
お誕生日 松本三郎君 (9月3日)

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所: 大和中央1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場: 大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日: 毎週木曜日12時30分より
会長: 藤田 重成
会長エレクト: 富沢 重徳
副会長: 有沢 昭二
幹事: 土屋 翁三
会報委員: 二見・前原・小林

藪内宏雄君（大和） 本日も宜しくお願い致します。

眞鍋藤正君（大和） 暑中御伺い申し上げます。

黒田忠男君（大和） 本日もお世話になります。

吉光喜久雄君（大和田園） 残暑お見舞申し上げます。久し振りにお世話になります。

吉田敏行君（大和田園） はじめて御世話になります。

長野俊八君（大和中） ボーイスカウト、チャリティゴルフの大会には、多数のご参加を頂き有難うございました。また健全なる青少年育成団体への助成にも、一助できましたことにお礼を申し上げます。

前原一男君（大和中） 先日のボーイスカウトのチャリティゴルフ大会で55位賞を頂きました。

松本三郎さんには大変お世話になりました。

富沢重徳君（大和中） 8年皆出席のお祝いありがとうございます。どうにかつないで生きています。

松本三郎君（大和中） 誕生日祝い有難うございます。5才馬になりつつあります。また長野さん写真ありがとうございます。

後藤定毅君（大和中） 創業記念祝い有難うございます。右も左もわからないで始めた商売もお蔭様で15年が過ぎました。これからも宜しく。

古田土勝美君（大和中） 創業記念日祝って頂きありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。

松本忠明君（大和中） お暑うございます。私の結婚した年はとても涼しい年で、出席者に喜ばれた記憶があります。すべては私の徳のいたすところでしょか！

上村幹雄、辻国明君（大和中） 昨日のあの厳しい残暑の中、藤沢ゴルフクラブで憎き天敵、後藤君と、かよわき松本三郎君から大枚のチョコレートを巻き上げましたが、後で何をされるかわかりませんので、全額をスマイル致します。

《卓 話》

「悟りくさき話」

清水洋三君

良寛の自戒のことばの中に「悟りくさき話」というのがあります。そのつもりで世の中を眺めてみますと、身近に色々と「悟りくさき話」がころがっているのです。なるべくその様なことにならない様に警戒し乍ら話すためにわざとこの題にいたしました。

それというのも本日の話の中には神様ということばが沢山出て参りますので、聞く側からみると「あいつ少し神がかりになったのではないか」と誤解をうけるおそれがあります。私はまだ「神がかり」までは可成遠くて「悟りくさき話」の入口くらいのところをウロチョロしているつもりであります。従って入口から中に入らない様に警戒し乍ら話すのだということを最初にお断りしておきます。

神様は自分自身、手や足やお道具などを持っておいでになりませんので、仕方なく、人間や動植物に依頼して必要な物を作るという仕事をやって貰っておいでになります。

そこで仕事をやっている側の人間様の取組み方から見ますと、神様から依頼された覚えのある人も、全く覚えのない人も、自分のやっている仕事は神殿の仕事の代行であると考えて取組んだ方がより立派な仕事ができるものだということを述べるのが、この「悟りくさき話」の目的であります。

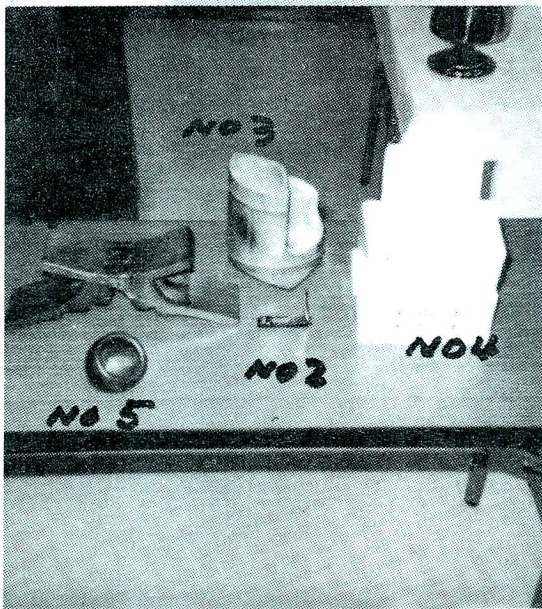
物を作るにしても、同じ物を繰返して作っている人よりも、今迄地上になかったものを、新に創造するという人の方が、一歩神様に近いところで働いていることになりますので、神様の仕事の代行ということも納得しやすいし、神様そのものの存在も肯定しやすい様に思われます。

最近見付けた二、三の作品をお目かけます。これを面白いとかどうかは見る人が決めることでありますが、これらは何れもそれまで世の中

になかったものを「ひらめき」により新たに開発した作品であります。

これらの作品の中で一つでも「これは俺よりうまいな」とか「一本参ったな」というものがあつたとすれば、それは最初からそれに負けない物を作るためには、神様から頼まれなければならない筈のもので、このことが自分の仕事は神様の代行であると考えた方が立派な仕事ができるということにつながるのであります。ここで神様というのが嫌いな人はそれに代わる他の何でもよいわけがあります。

これらの作品を完成した人々は「面白いものができてよかった」と心から好運を喜んだでしょうし、その喜びが大きかっただけに、ひきつづいて仕事を任せて貰うためには、どうしたらよいかを大いに研究したことでしょう。



1. 旅 枕 (写真No.1)

民芸品店で見つけたもので2,300円でした。これはどうして組立てたものでしょうか。回覧を致します。枕の高さが変わると眠れないという人が旅行用に持ち歩いたものということですが、もう一工夫加えると枕の高さを四種類に変える

こともできます。今晩は枕を高くして寝ようと思えばそれもできるわけです。

昔の人は鬘をゆったままで使用したと思いますが、現在でも畳の上で、これで昼寝をすると涼しくて、もってこいです。この構造と製作法を思い付いたのは昼寝のあとにちがいないと私は思うのです。

2. 切った爪が落ちない爪切り (写真No.2)

先日、原田さんからホールインワン記念として頂戴致したものです。爪切りとしての動きをシースからの脱着に利用したところが卓抜なアイデアであります。

ホールインワンという現象も神様が原田さんという人間の腕を借りて行なったもので、その記念品にこの爪切りという組合せも優れた神様の発想であると思います。

3. トイレトペーパーホルダー (写真No.4)

「NEPON」という厚木にある会社で作って「TOTTO」に納めています。ワンタッチでペーパーが脱着できるアイデアがすごいのです。

構造そのものもワンタッチで組立てられ、心憎い程であります。私は先日、家のトイレにこれを二個取付け、それからはトイレに入った時「恐れ入りました」と二回おじぎをして用を足すことにしています。

このすばらしいホルダーを呉れたのは私の車の運転手さんのお嬢さんで「NEPON」に勤務しています。これを頂戴した時、少し「トイレトくさき物」ではないかと心配し乍らあけて見てビックリ、分解して見て二度ビックリ、使ってみて神様の香りを味わうことができ、兜を脱いだわけです。従業員並の値段で少し買わせて貰いましたが、現在爆発的に売れていて従業員にまわすことが難しい状態であると聞いております。

このお嬢さんにお礼として私から差上げたものは、この小型タコ壺であります (写真No.5)

「倒れたら困るな」という立ち方をしているものを、初めから倒して置くというのが神様のアイデアであります。「乾山」と名前が刻んでありますから、作者は尾形乾山かも知れません。

尾形乾山は、ご承知の様に尾形光琳の弟、江戸時代の中頃の焼物師で京都の「乾山焼」で有名であります。

69才を過ぎて10年間関東で光琳に似た様な絵も画いております。

横浜の小さな陶器店で一個1,200円で二個買ったのですから、この「乾山」のサインは「インチキくさき物」と思います。

しかし又別の観点からすれば、この様な卓抜した発想のものは乾山程の人でなければ作れないのではないかという気もいたします。神様がこの様な遊びをやって見たい、さて誰にやらせようかという時に乾山が浮かんで来たのでしょうか。乾山はこれを立派に作りました。

そして昭和61年になって、これを誰に買わせようかなと考えていた時、丁度私が通りかかったのでしょうか。私以外にこんな無駄な物を二個も買う人はいない筈です。しかしこれをお礼に差上げたお嬢さんは面白いと言って喜んでくれました。

4. 筆立て (写真№3)

自分で作ったものを持ち出して申し訳ありませんが、これは乾山けんざんではなく洋三ようさんの作品であります。これは倒れたら困るものを倒れないように倒したところがミソであります。

乾山とは関係なく発想したところが自慢でした。

ところが、昨年この物は、東急ハンズ大賞一等100万円に応募して予選も落ちるという惨敗を喫しました。神様の依頼内容をはっきり掴んでいなかったか、その指示通り動かなかったかの報いでありませう。昨今はこの誤りを繰り返さない為に、河野義先生の寝禪がよいと考え、横

着に早寝早起きをしております。失礼いたしました。

故、種ヶ島 実さんの奥様が来会されて、葬儀に際してのご挨拶がありました。

主人の葬儀には皆様方お忙しい中、大変お世話になりました。何んと申し上げてよいか言葉もございません。本当にありがとうございました。

— 〇 語 録 —

(トイレトペーパーホルダの話の中で)
構造そのものもワンタッチで組立てられ、心憎い程であります。私は先日家のトイレにこれを二個取付け、それからはトイレに入った時「恐れ入りました」と二回おじぎをして用を足すことにしています。(聴衆爆笑)

「いや、そういう感激がなかったら、新しいものは出来ませんネ!!」

(悟りくさき話) から
ようさん
清水洋三君

ロータリーの誕生とその成長

今から81年前の1905年、その頃経済恐慌で人心の荒れずさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポール P. ハリスが、3人の友人と語らって2月23日、第1回の会合をひらいたのが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所ですらひらいたことから名付けられました。このクラブは着実に成長し、現在160国家および地域にひろめられ、クラブ数22,316、会員数1,016,747人に達し、さらに大きな発展を期待されております。